

環境データ集 2016 Contents

トップメッセージ……………	03	国内製造部門での環境保全活動……………	10
マネジメント……………	04	ショッピングセンター部門での環境保全活動…	21
特集① 排水リサイクル設備の導入……………	05	社会貢献活動……………	22
特集② コージェネ設備の導入……………	06	ニッケグループ各社の取り組み……………	24
環境経営の取り組み……………	07	環境報告ガイドライン対照表……………	29

編集方針

本データ集は、ニッケグループの環境活動について、2015年度の取り組みと実績、今後の計画を報告するものです。環境パフォーマンスデータは、国内の衣料繊維製造部門・資材製造部門とショッピングセンター部門、オフィス部門を報告対象範囲としています。報告書またはデータ集の発行は本年度で12回目となります。また、冊子を廃止して当社のウェブサイトのみの掲載としています。

報告対象組織

- マネジメント・環境経営・環境保全活動・社会貢献活動
ニッケグループとしての取り組みと各社の活動を報告します。
- 環境パフォーマンスデータ

日本毛織株式会社

製造事業所(3カ所): 印南工場、一宮事業所、岐阜工場
 オフィス(8カ所): 本社、神戸本店、東京支社、北海道営業所、仙台営業所、名古屋営業所、広島営業所、九州営業所
 ショッピングセンター(2カ所): ニッケコルトンプラザ、ニッケパークタウン※1

※1 ショッピングセンター運営事業は、2015年12月1日に新会社ニッケ・タウンパートナーズ(株)に引き継いでいますが、2015年度末時点の組織で報告しています。

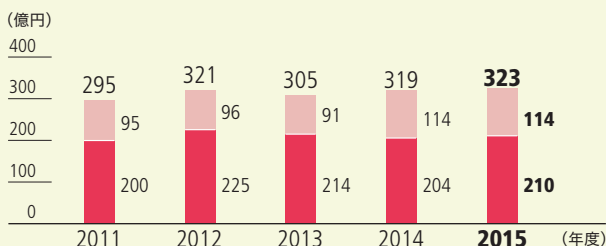
国内グループ会社(6社)

尾州ウール株式会社、大成毛織株式会社、金屋ニット株式会社、アンビック株式会社、株式会社ゴーセン、株式会社ツキネコ

連結対象組織における報告対象組織の補捉率は約60%です。これは国内エネルギーデータをもとに、事業規模から推測したのですが、補捉率の精度向上のため、今後、より広い範囲でエネルギーデータの収集に努めます。

パフォーマンスデータにおける金額原単位の指標

■ ニッケ3事業所出荷額合計 ■ 国内グループ会社売上高合計※2



※2 グループ会社売上高合計: 2011~2013年度は5社、2014年度以降は(株)ツキネコを加えた6社の合計値。

報告対象期間

2015年度(2014年12月1日~2015年11月30日)

期間中に発生した重要な変化

国内生産拠点のフル活用と高性能素材開発を促進する体制強化のため、一宮第1事業所、第2事業所の紡績生産機能と原糸開発機能を岐阜工場に、整理・反染・検査機能を印南工場に移管しました。また、日本パムコ(株)、杉本織物(株)の全株式を取得し、完全子会社化しました。

発行日、前回発行日、次回発行日

発行日: 2016年2月25日

前回発行日: 2015年2月25日

次回発行予定: 2017年2月

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

作成部署・連絡先

ニッケ 研究開発センター 環境・知財管理室

兵庫県加古川市米田町船頭440

Tel. 079-431-2106 Fax. 079-431-2070

主な企業情報

企業情報: 会社案内、有価証券報告書、

ニッケレポート(事業報告書)、IR資料、環境データ集

主な企業情報に関するお問い合わせ先:

ニッケ 経営戦略センター 総務法務広報室

Tel. 06-6205-6600 Fax. 06-6205-6684

E-mail: webmaster@nikke.co.jp

企業情報に関するご意見・ご質問は、連絡先をお聞きした上で関係部署から返答いたします(返答は後日になる場合もあります)。

【ご注意】

2014年度以前のデータも見直し修正しましたので、昨年報告のデータと異なる数値があります。新しい情報は随時更新します。また、四捨五入しているため%数値が合わない場合があります。

【免責事項】

本報告書には、ニッケおよびニッケグループの将来に関する見通しも記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、将来の事業活動の結果とは異なったものになる可能性があります。